

# 東北ダンプ



【発行】全日本建設交通一般労働組合(略称・建交労)東北ダンプ支部  
〒963-8025 郡山市桑野2-3-2  
建交労福島ダンプ内

2024年2月1日発行 NO.20

Tel.024-933-4511 fax024-921-1868

Email: fukusimadanpu@mtj.biglobe.ne.jp



## 絶好調の盛り上がり

東北ダンプ支部主催、福島県本部共催の新春旗びらきを1月13日(土)午後7時より郡山駅前のビューホテルアネックスで開きました。来賓11名をふくめ総勢80名が参加しました。はじめに、瀨柳支部執行委員長が主催者あいさつし、来賓の二人から祝辞をいただきました。日本共産党神山悦子県議からは祝電が寄せられました。

ひきつづく余興では、元ラジオDJで・演歌歌手の森京子さんを迎えての歌謡ショー。着物姿での登場に会場が一変して華やかになり、その歌唱力は実力派そのものの歌声で参加者をワンプかみにしました。

恒例の抽選会は、高級腕時計が当たる『くじ引き』。森さんに引いてもらい、番号が呼ばれると会場から「ウォー」と大歓声があがり、呼ばれた組合員は嬉しそうに景品を受け取っていました。

余興の二部は、来賓の建交労関西支部岡元顧問と森谷副委員長のリレーによる森さんとのデュエットで始まり、おおいに会場を沸かせました。つづいて森さんが歌いながら各テーブルをまわると、一緒に写真におさまろうと人だかりができました。割りばしにはさまれたお札の束が扇子に見えるほどに…盛り上がりは絶好調！

アンコールの声があちらこちらから飛び交う中、森さんが宴会の盛り上がりには持つてこいと、誰もが口にしたことのあるドリフターズの『いい湯だな』を選曲して、壇上で森さんと肩を並べみんなで大合唱。フィナーレにふさわしく会場が一つになりました。

コロナ前の日常が戻りつつある今回の旗びらきは、これまでにない大勢の参加者を迎えて開催することができました。来年も同じ規模での開催を目指して、さらに労働組合運動を旺盛に進めて行こうと確認する機会となりました。



## 組合の税務調査の対応

12月に組合員から税務調査の相談を持ちこまれました。当初、帳簿、内訳書、申告書に問題がないということなので、組合員本人が対応していました。調査官から、「調査の対象は、令和元年～令和3年度の3年間の調査だ」と言われ、本人は面倒なので、3年分の帳簿、請求書、内訳書、通帳などを調査官に渡しました。ところが、その後調査官から4年前の資料も見せてほしいと連絡があったため、組合へ相談しました。

組合としては、ちょうど今がダンプの稼ぎ時で、しかも任意の調査で時間がかかると組合員も参ってしまうと考え、組合員と一緒に直接税務署に行き、調査の年数を増やしたことの抗議も含めて、即刻調査を終わらせるように要請に行きました。統括官も交えて話し合いをして、申告間違いや申告漏れの部分の修正には応じるので早急に調査を終わらせるよう要請をしました。その後、調査官から修正申告書を送るのでと電話があり、組合員本人が署名して送り返すことで、税務調査は終了しました。

税務調査は、任意の調査に関しては、どのような申告がなされているのかを調べ、改善点があれば確実な申告ができるように指導することを目的に行われます。同時に納税者に対して過大な負担をかけるてはならないという大前提があります。

今後も税務調査には協力はするが、間違い探しのような調査には、毅然(きぜん)と対処することが大切です。

## 晴釣雨読(せいちょううどく)

昨年、会津物語「食文化つなぐごちそう」と題した【福島民友】の記事を福島分会の森谷氏から送られて、数か月後さらに珍しい魚「ゴキ」の新聞切り抜き記事を送って頂いていたが一読したものの保管したままだったことを忘れかけていた▼ゴキと言われても何のことか想像がつかないでしょう？東北地方で渓流釣りをしている釣り師でもおそらく耳にしたことがないのが大半であろう。大まかに言うと、本州中国地方の溪流に棲むイワナの一種で「まぼろしの魚」とも言われ天然記念物にも指定されている。▼イワナは溪流の王様とも称され溪流の中でも特に冷水を好む魚として知られ、釣り人は道なき道をかき分け流域に入りイワナを狙っている。▼日本に生息しているイワナは分類学上一種類だけで、今回のゴキは、他に同類であるエゾイワナ、ニッコウイワナ、ヤマトイワナを含めて4亜種に分類されている▼亜種とは、近年は研究が進み同じ種類の動物や植物でも、大きさや色、食べ物や生態などが違う場合があり、種より下の階級を作る必要に迫られ誕生した分類学上の4亜種に分類されている。▼ほかに寒冷気候に適応した3亜種でサザンドリーパーデンと日本の北海道だけに生息するオシロコマ、ミヤベイワナがいる。▼福島県のゴキと北海道のオシロコマ、ミヤベイワナは「環境省レッドリスト」絶滅危惧類として扱われている尊い魚である。▼近年急激に熱波に見舞われ、世界各地で極端な高温化し多くの生物が死滅している。専門家は人間が起こした地球温暖化に警鐘を鳴らしている事を忘れてはならない。

高橋 深峰

## 自民党の裏金づくり疑惑

# パー券購入も企業・団体献金も 全面禁止するしかない

派閥	総収入	パーティー収入
麻生派 (志公会)	2億8658万	2億3331万 (81%)
岸田派 (宏池会)	2億2935万	1億8329万 (80%)
二階派 (志帥会)	2億2094万	1億8845万 (85%)
茂木派 (平成研究会)	2億1612万	1億8142万 (84%)
安倍派 (清和政策研究会)	1億8635万	9480万 (51%)
森山派 (近未来政治研究会)	4436万	4016万 (91%)

\* 単位円、%は総収入に占める割合

### 政治資金パーティー事件の構図



パーティーは終わりで美味いのに



自民党のウラ公約

## 能登半島地震支援カンパ

### 建交労の組合員も深刻な被害

1月1日の夕方発生した能登半島地震の被害が広がっています。死者数は236名(1月28日現在・災害関連死を含む)、4万3766棟の住宅被害(1月28日現在)です。建交労の組合員も42名(労職40名、ダンプ2名)が被災し、うち北信越労職支部の仲間が1名亡くなっています。

各分会の組合事務所では、支援カンパを受けつけています。支援カンパは、中央本部を通して、被災した組合員に送られます。

復旧・復興には長期にわたる支援が必要です。ご協力をよろしくお願いいたします。



## 署名のお願い

毎年、組合員一人一人が参加できる運動として署名をお願いしています。『ダンプ・建設労働者の低単価・労働条件の改善を求める署名』です。今年5月に国交省本省へ直接手渡しをします。労働条件や単価改善について直接国へ請願します。ダンプ・建設労働者の実態を訴えるチャンスですので、一人でも多くの方の署名をお願いします。

注意事項としましては、家族分の住所を記載する場合は、「//」は使わず面倒ですが、きちんと記入してください。また、県名から記入するようにしてください。

集計をしますので3月末までには、各分会の組合事務所へ届くようにしてください。また、税金学習会や集会などで集まる際に、署名を持参してください。

国土交通大臣 斉藤 鉄夫 殿

ダンプ・建設労働者の低単価・労働条件の改善を求める署名

貴省直轄工事の現場で、過積載をなくすために元請などの背後責任の追及を強化し、交通安全の実現に努めて下さい。また燃料高騰の下でもダンプが安心して働けるよう、元請建設会社に対する低単価・労働条件改善の指導を強化し、尚且つ建設産業の民主的発展に寄与していただけますようお願いいたします。

要 請 事 項

- 積算にもとづく単価をダンプ労働者に支払うよう請負者を指導してください。
  - ①公共工事における大型ダンプの工事原価(8時間稼働)は、7万5千円(税別)「直接工事費+間接工事費(福利厚生費含む)+一般管理費(利潤相当額を含まない)」です。しかし、車持ちダンプ労働者に高くても3万円5千円程度しか支払われていません。少なくとも、直工費と福利厚生費を含めた単価が支払われるよう、受注者と建設業界団体を指導して下さい。
  - ②公共・民間の各建設工事や骨材、合材の運搬に従事している自家用ダンプ(白ナンバー)についても燃料高騰対策支援金の公布対象にして下さい。
- 設計図書のひとつである「現場説明指導事項」(ダンプ・トラック等による過積載防止について)を遵守するよう、国交省の関係職員はもとより、受注者や建設業界に徹底して下さい。また、同法第12条団体等に該当する建交労全国ダンプ部会加入者を使用促進するよう受注者に対して指導を強めて下さい。



建交労共済会 2023年度

# 拡大キャンペーン

いざ!に備えよう

実施期間  
2023年9月1日  
～  
2024年6月30日

◆ 一例 ◆

- 新規に組織共済に加入した組織に  
→ 月額掛金3ヵ月分の還元
- 組織共済に継続して加入する組織に  
→ 純増人数×1,000円
- 個人セット共済に新規加入  
→ 個人に5,000円分の商品券  
プラス組織に5,000円

詳しくは【建交労共済会】へ

03-3360-8021 info@kenkourou.or.jp